

阿蘭陀油集解

全

阿蘭陀
油集解

499.65

075-8

No. 5030



富士川文庫

3074

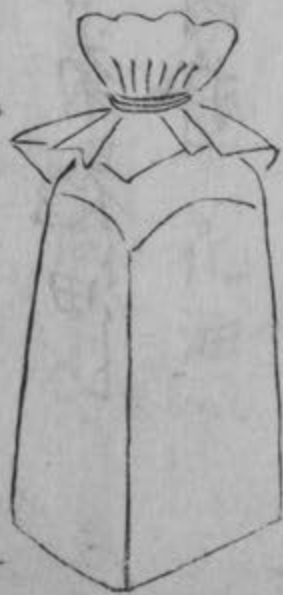
阿蘭陀油集解

富士川家藏本

一ツ、リヨロザアロム

茨花油

茨之花臺ヲ去リフランスユニアセトウナノ油ヲ見合
 ヘレフランスユノロヲナメシ皮ニテ括リ気ノモレサル様ニ
 シテ天日ニサラス7百日布ヲ以瀘シ滓ヲ去リ使フ



気味苦性冷直治跌撲傷損ニ此油ヲ塗テ或金瘡ノ
 廻リニ温メ塗テ痛ヲ止メ血熱ヲ涼ス又耳ノ痛ニ

二三露耳中一滴滴入テ良

一ヲ、リヨカモメリ

野菊花油

野菊花ノ莖ヲ去製法同前

気味耳苦性微温主治筋骨疼痛跌撲傷損
久シク不愈者ニ温メ塗

一ヲ、リヨレリヨウノロム

百合花油

白百合花ヲ取莖ノ方ヨリ五分ホド間ヲ置鉄^鉄テ

切り去リ製法同前

気味耳性平主治筋骨疼痛或ハ痛風寒、湿等

ノ諸痛ニ温メ塗ヘシ或ハ婦人難産ニ小腹及腰ノ

廻リニ温メ塗テ有神効

一ヲ、リヨイツヘリシ

乙切草花其莖ヲ去製法同前

気味苦微辛性温主治金瘡ニ木綿ノホツシニ浸
貼ス或ハ突疵ニ温テウキキメイ千ヤニ浸シ刺ス又跌撲

傷損三十五滴二十滴ホト温湯ニ点シ服ス或ハ矢
疵鉄鉤疵鏹疵等ニテ経絡傷損シタル時テレトシテ
イ十ノ油等分ニ合メイチヤニ浸シ刺ス能瘀血ヲ除
キ血熱ヲ涼シ経絡ヲ養フ

一ヲ、リヨロムフリヨム 蚯蚓油

山蚯蚓ヲ取不拘多少燒酒ニテ能土氣ヲ洗滴テ
乾シ其後アセトウノ油ニ入レ日本酒ヲ見合加イ鍋
ニ入微火ヲ以煎シ酒氣尺寸見テ布ニテ瀘シ渣ヲ

ヲ去リ使フ

氣味鹹性寒、主治手足冷麻木スルニ塗土又脚氣
筋痛ニテレトシテイノ油等分ニ合セ塗土

一ヲ、リヨロムフリヨム 黒ツ、ノ実油

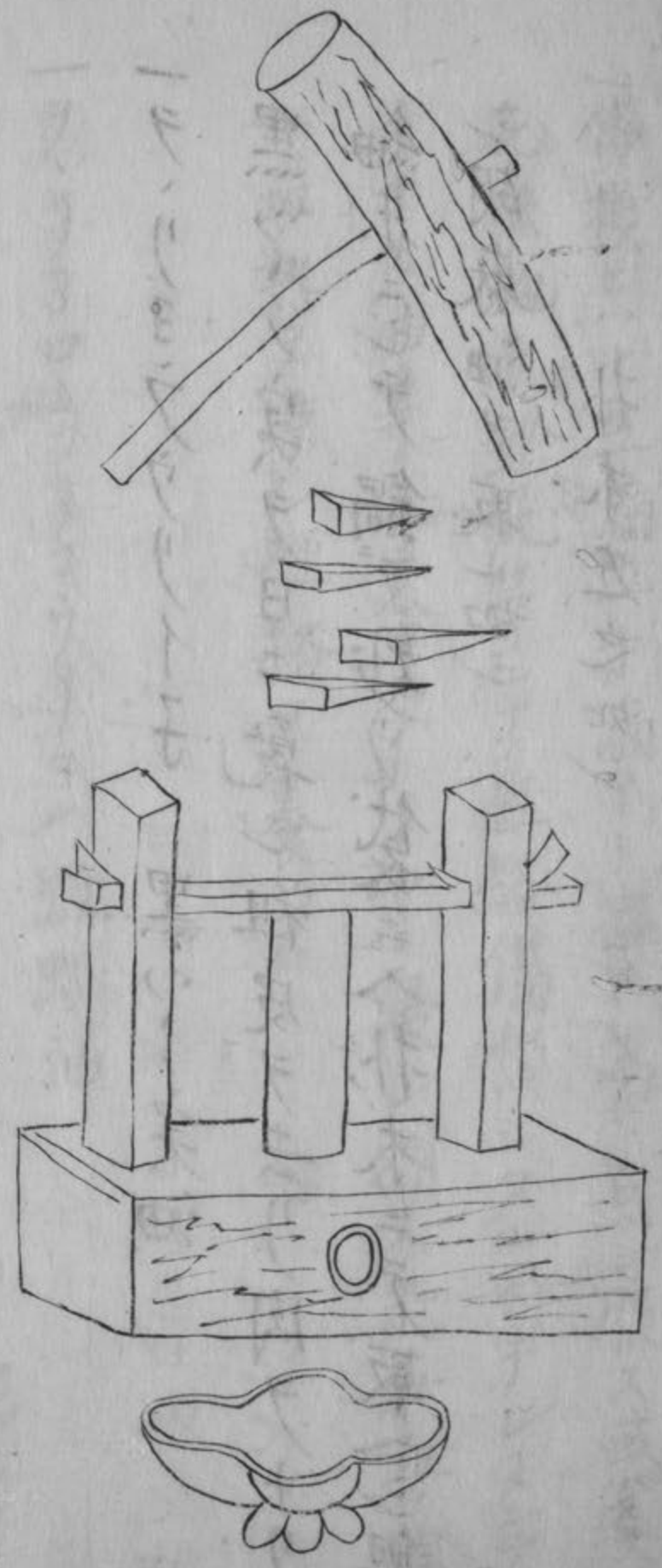
黒ツ、ノ実ヲ日ニ乾シ粗皮ヲ去リ肉ヲトリ

細末ニシテ鍋ニ炒リ袋ニ入扑木ニテ取ヘシ但

シ胡麻油ヲ取ル如シ

扑木左之如シ

氣味苦性寒、主治濕疹、經絡ニ壅リ痛ヲナシ
 或ハ肋骨疼痛ニイソクエントデアアルテイヤテレメンテ
 イナノ油三味合メ塗有奇効能氣血ヲ調和ス



根製對ニ當ルナク其ノ皮ヲ去リ

一ヲリヨアマンドロクニ入ル 其アマントウノ油

其アマントウノ殼ヲ去仁ヲ取温湯ニ漬ケ皮ニ火ヲ

去リ末ノ蒸シ熟シ袋ニ入ツ、ノ実ノ油ト同シクシメ取

氣味其性微温主治胸腹連腰痛或ハ石淋此油

十四五露ホド沸湯ニ占ツシ服ス或ハ婦人經水不調

瘀血壅滞ニ好酒ニ十二三露ホド滴テ温服ス

一ヲリヨベツトロアマントロ 苦アマントウノ油

油取様同前

氣味苦性温主治耳鳴或八耳聾或聒耳膿
ヲ出シ疼痛スルニ二三露ホト耳中ニ滴リ入テ有
神効

一ヲリヨハツテハルセキ 排仁油

油取様同前

氣味苦性平主治瘀血ヲ下シ經水ヲ通シ血
淋跌撲ニ痛ヲ止メ血塊ヲ散ス

一ヲリヨハツテハルセキ

罌粟實之油

油取様同前

氣味酸瀋性寒主治風湿經絡ニ客シ手足疼痛
不仁或大人小兒夜不安卧者ニ此油十四五露ホト

湯ニ滴シ服ス外兩ノ大陽ノ穴及鼻ノ下ニ擦テ更ニ
可シ又咽及胸痛ニ十露ホト湯ニテ服ス或胃熱

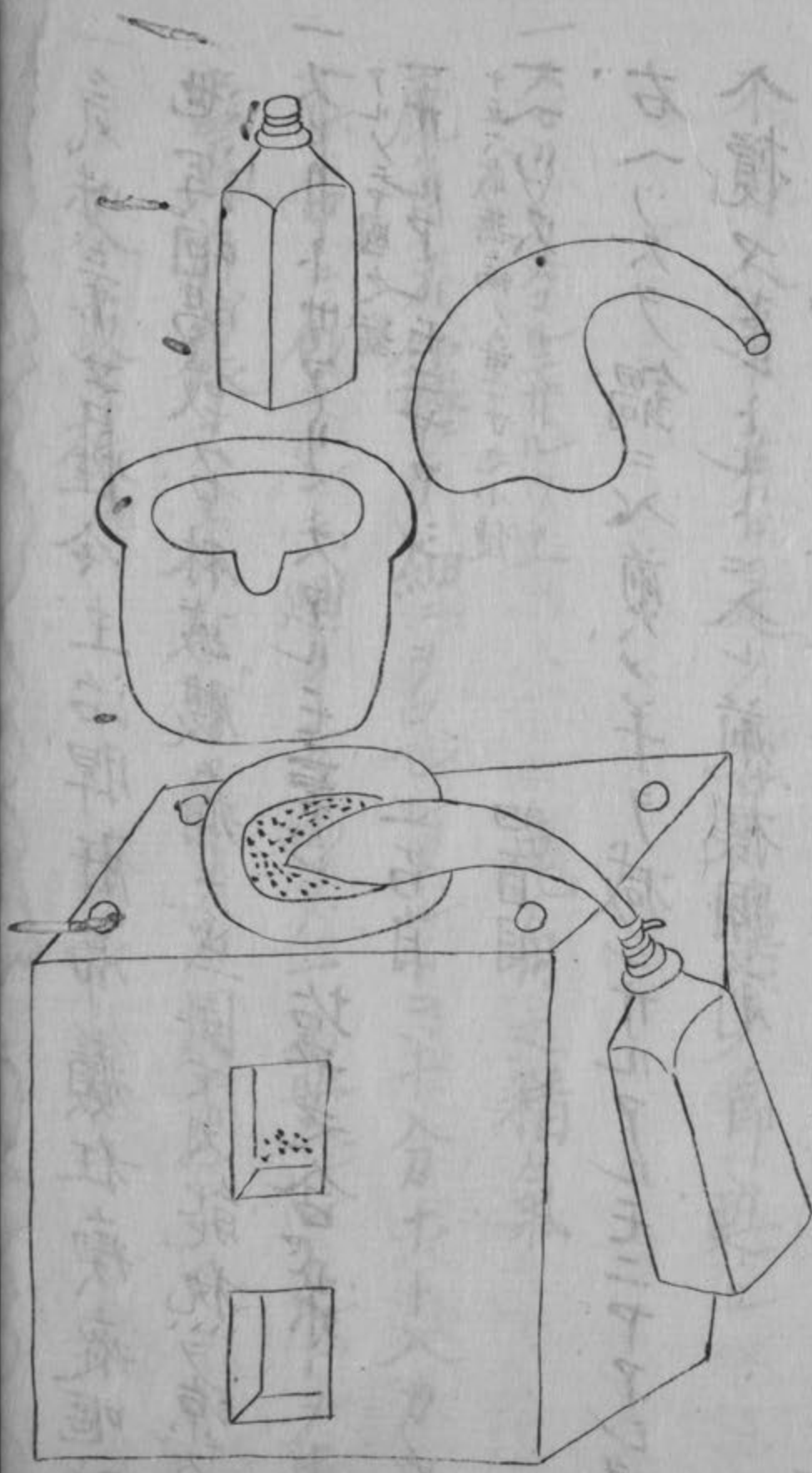
心熱等ニテ口中瘰癧スルニ白蜜ニ少シ加エテ
之ヲ含テ効アリ

一スヒリトサアリヌ

塩之精氣

鹽ヲ水ニタテテ雞卵一ツ入筥比テ攪マセヒタト塩ヲ入
 添卵水面ニ浮ヲ度トシ右卵ヲ去塩水ニホウル
 スアルメニヤ若無片ハ子バキ
赤ツキヲ用掛目七百二十目入塩水ヲ子
 合セ五モシメ之鉄鉋玉ホトニ丸シ日ニ乾堅メテ又ホシテ
 右ノ如ク塩加減ヲシテ未ニシタル土ヲコ子合セ丸ス如此
 スルコト凡ソ三度又其後レトルトニ入カツヘルニ細砂ヲ
 厚リ一寸ホト敷其上ニレトルトヲ居エ又其廻ニモ
 砂ヲ入カツヘルニ皿ニ填テ爐ニ炭火ヲ先少シ入

漸々ニ火ヲマシ一日一夜煎シレトルトノロヨリスゲ
 置タルフラスコニ移ル精液ヲ取り使フ



氣味辛 苦性冷 主治脾肝滯 癩狂 瘕瘕 嘔吐
泄瀉 咽喝 或石淋 或腹痛 虫ヲ下ス 能執ヲ涼ス

一スヒリトサアリ スアルモニヤアシ 塩之合マ茶

アルモニヤ國之塩

二百目

一サアルアルモニヤアシ

四百目

右ヘツスヲ 錮ニ入 煎ノ羊ヲ 減シサルアルモニヤアシヲ

入攪マセレトルトニ入レ 煎様同前

氣味鹹ク辛シ 性微寒 主治補心氣 脾胃ヲ健シ
中風 熱ヲ清シ 婦人産後ニ 九露十露ホト用ユ

能營衛ヲ 調工 瘀血ヲ 散シ 氣ヲ 爽シ 或ハ一切之
金瘡及小兒驚風ニ 用驗有又ノ癩癩卒然シ
不省人事者ニ 是ノ香ヲ 嗅セテ 即甦ル

一スヒリトスルニサルウエ 鹿角之精氣

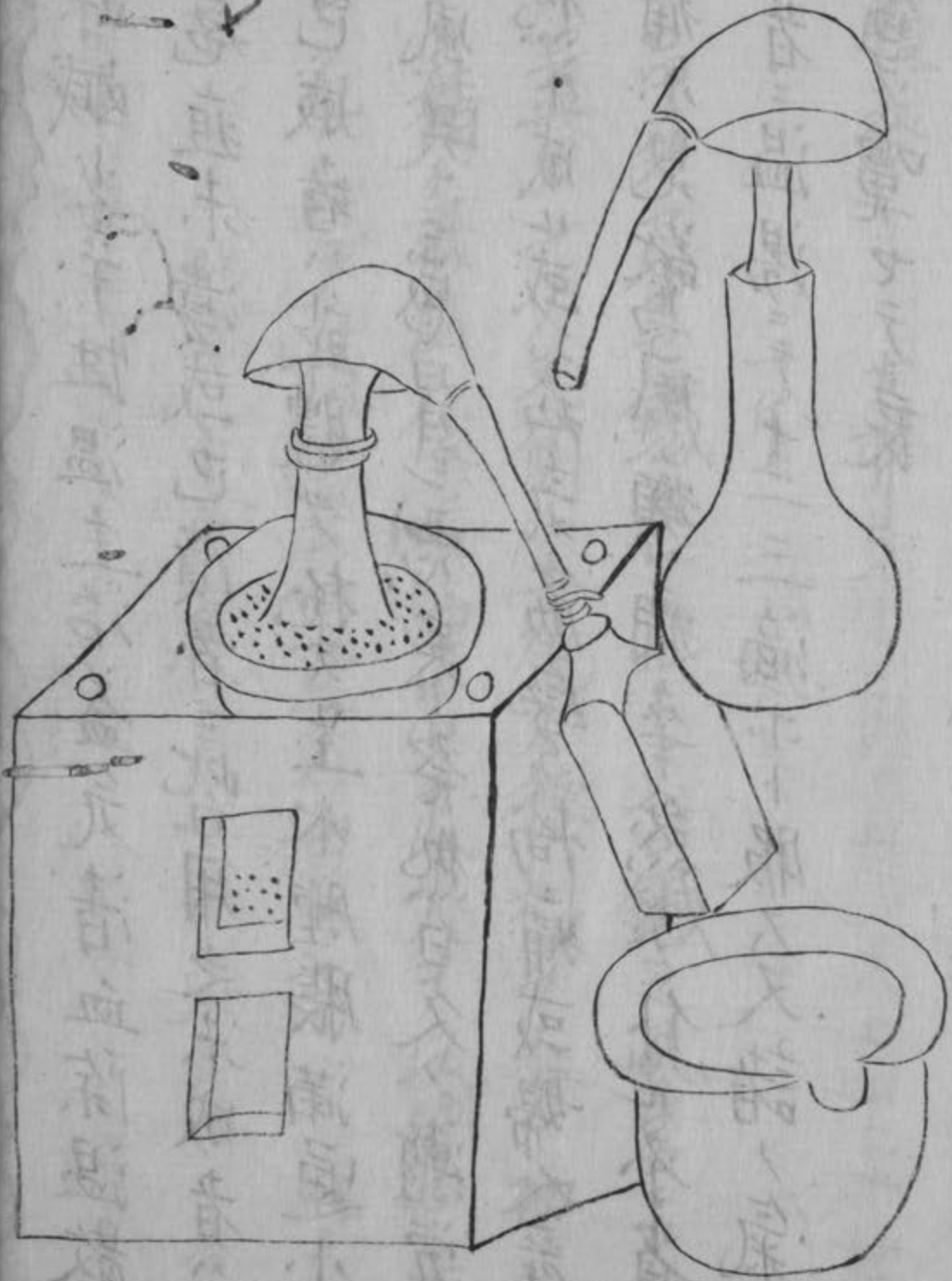
鹿角ヲ 鑪ニテ 細ニヲロシレトルトニ 羊分ホト入カツ

ヘルノ中ニ 砂ヲシキ 廻リニモ 砂ヲ一不皿入レトルトヲ中

ニ置煎様スヒリトサアリノス同前

又取様

鹿角ヲ細末ニシテヒイトロ、甌ニ入カツルニ砂ヲ鋪キ
 其上ニ甌ヲ居エ蓋ヲ能シテ蓋ノ合目ニハ木綿
 廣サ一寸許ニ切麴粉雞卵白ニ色ヲ調エ合セ
 塗り蓋ノ合目ニ張雍^ダビイドロ竹十ニ別ニビイドロ
 ノ德利ヲスゲ鍋ノ下ニ炭火ヲ置キ精氣上リ
 別ノビイドロニ移ルヲ取使凡一鍋ヲ二日ニ夜程
 煎シ火ヲ引ヒイトロ甌冷タル片蓋ニ附タル白キ
 塩ノ如クノ者モ掃取り用ニ是ヲコルニサルウエ
 サアリスト云



気味鹹少辛性温主治益気清血除温散風
一切癩疽未潰或已潰者ニ比日用之未成者ハ速
散シ已成者ハ能膿ヲ托ス主水腫脹滿通小便
或ハ風寒ニ感冒シ惡寒ノ發熱日久ノ漸勞咳
潮熱ト成ル或ハ疝氣筋絞リ拘痛或婦人産后
腹痛小兒驚風癲癩卒然トノ仆レ不省人
事者ニ温湯ニテ十二三滴ホト服ス又諸ノ氣付ニ
此香ヲ嗅セテ良

一スヒリイトスヒツテリヨヲロム

膽礬名之精及油

青膽礬

十二斤

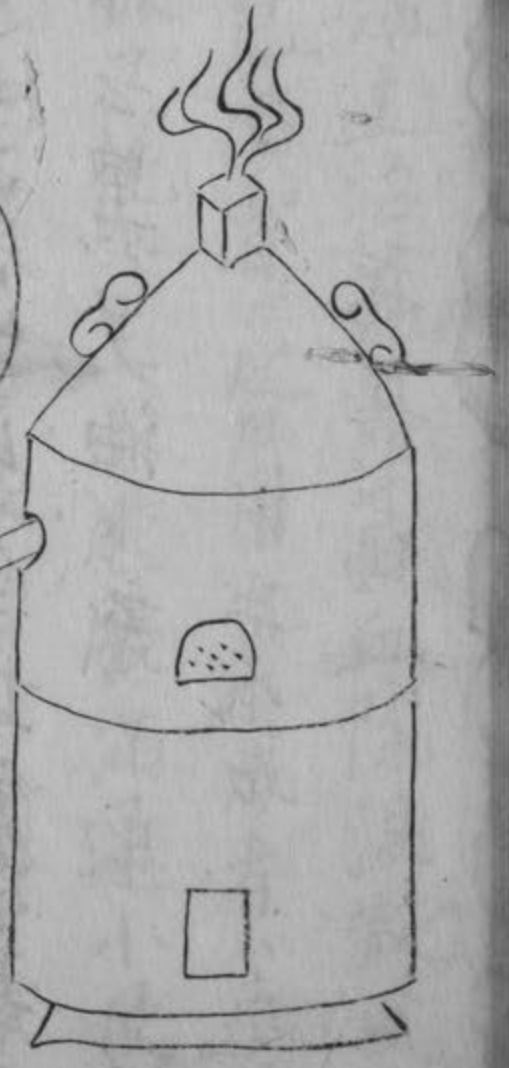
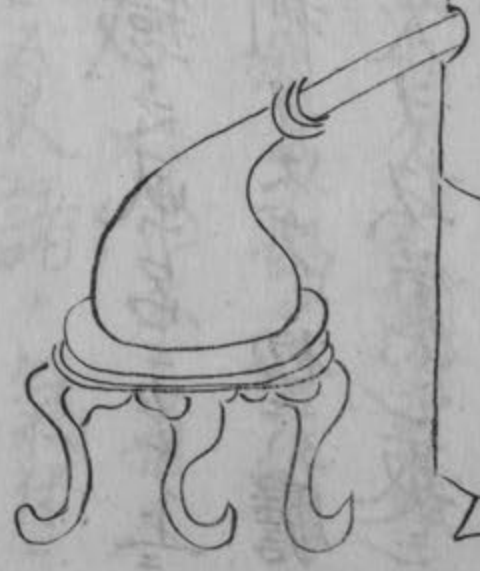
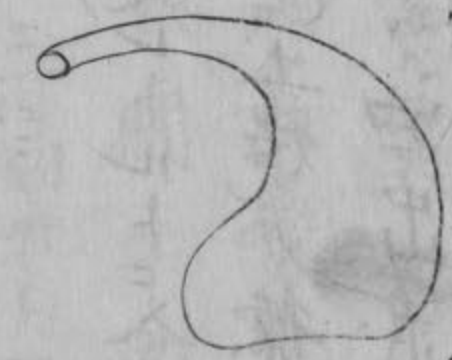
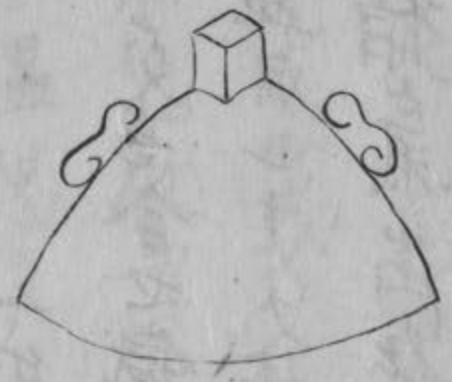
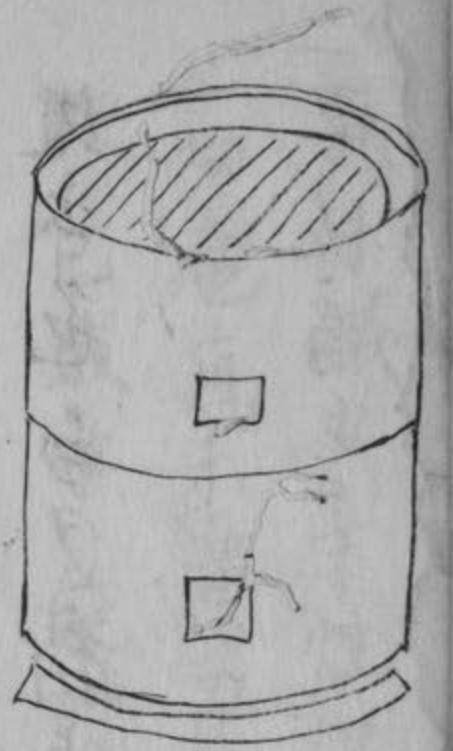
砂

一斤

右二品交セ合セ鐵之レトルトニ入レ鐵之風呂ニカケ上ニ
鐵ノ蓋ヲシテ又側ニ土燒ノ徳利ヲスゲ初ハ膽
礬ノ精氣出後ニ油出武火ヲ以煎之取
又云色白ヲ精ト云黒ヲ油ト云

精氣味辛性大寒、主治傷寒、大熱、二三滴、
 冷水ニ点服ス、或ハ齒斷口舌糜爛ニ臭穢不可

止馬牙疳



聞者ニ此精二三滴蜂蜜小天目一ツホト入六又七合
 木綿ノホツシニ浸シ幾度モ塗付涎ヲ吐スヘシ臭氣
 立ニ止ム或ハメリロサアロムヲ加テ尤可之

油ニ味同前主治一切惡瘡年久不愈腐爛ス
 ルニメリロサアロムニ此油少加五平メイ千ヤニ浸シ貼ス腐
 肉ヲ去穢ヲ生ス



琥珀之油

琥珀朱ラ 五行

砂 一斤半

右二色交セ合セルトルトニ入鐵鍋ノ底ニ砂ヲ厚サ一寸
ホト敷キレトルト居エ其廻リモ砂ヲ入レトルトノ口ヲラ
スユヲスケレトルト、フラスコノ合目ヲ能封ノ氣ノ不出
様ニシテ煎様スヒリトサアリス同煎

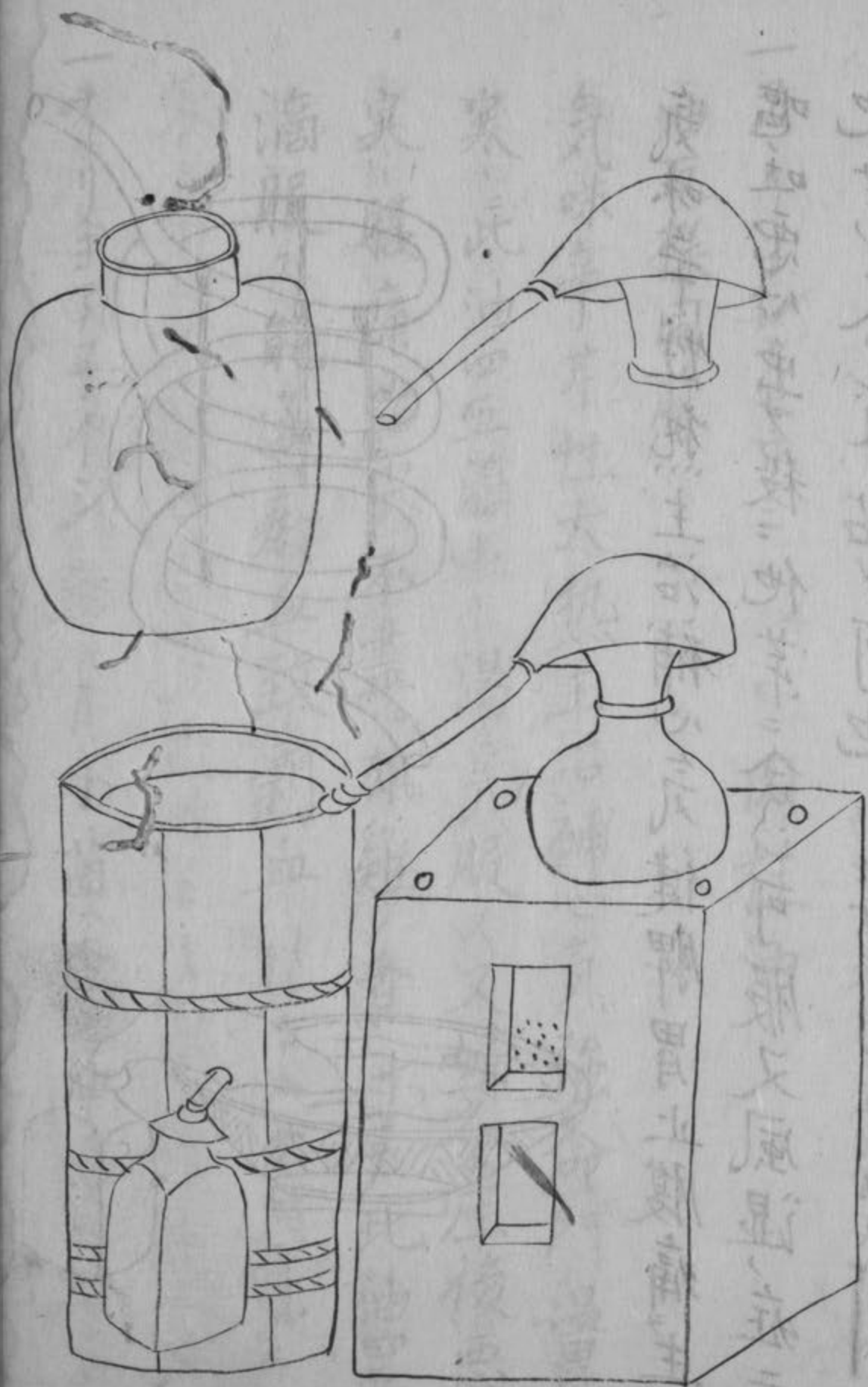
氣味辛苦性平主治水腫脹滿五淋閉結溫湯
ニテ三五滴ホト朝夕ニ用之能膀胱ヲ清シ小便ヲ
通ス又脚氣痛風風腫風濕ノ類ニイシクエシトテ

アルテイヤ合セ温メ塗テ良シ或ハ疫疔黃疸此油
四五滴ニテリヤアカ一匙ホト合シ湯ニテ朝夕服ス

一ヲリヨナカカフ 丁子油

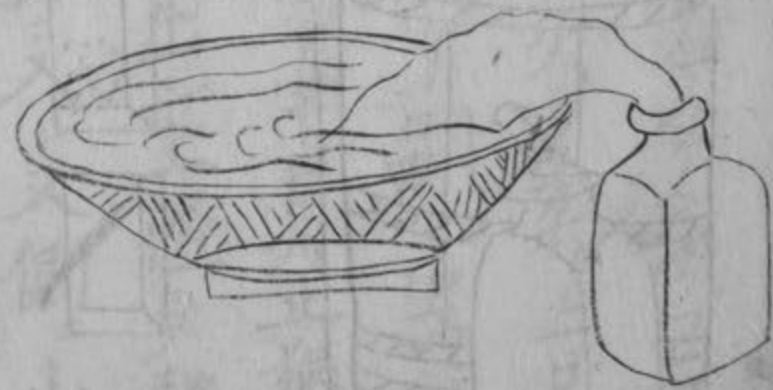
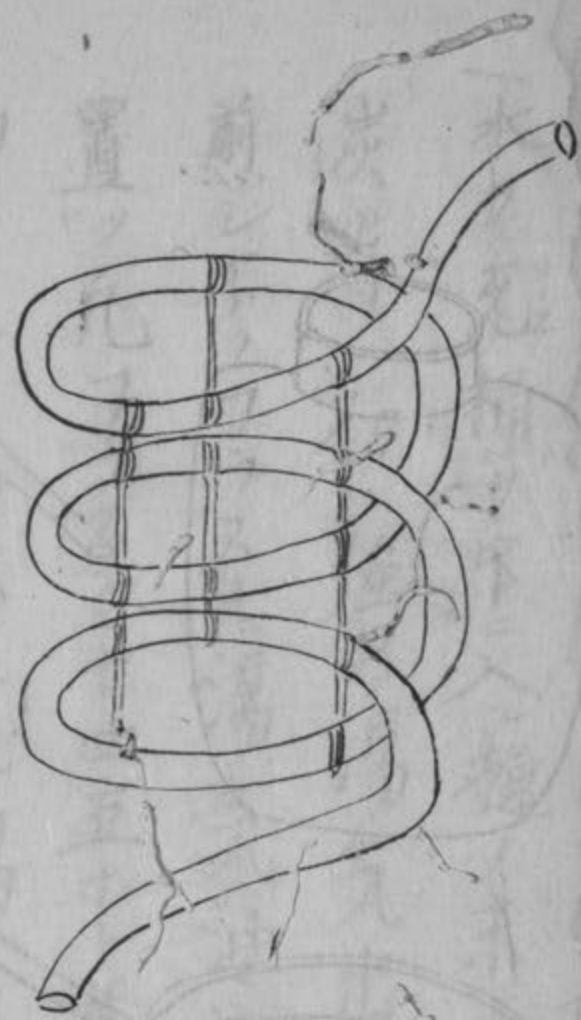
丁子五行粗末ノ壺ニ入レ水一斗ホト入其復ハ一日一夜
夕ハ三日三夜ホト淘シ壺ノ口ヲ能封シ水ヲラシヒ
キニハ合ホト入蓋ヲ能ラシヒキト蓋トノ間ヲ雞子白
ヲ以麩粉ヲ子リ糊ノ如クニシテ木綿廣サ一寸ニキリ
塗土付ケ能シ封シ桶ト蓋トノ間モ能封シ又側ニ桶ニ

水ヲ充^ツ桶ヲ中ニ入^レ桶ノ末ニフラスコヲスゲ風呂ノ下ニ
 炭火ヲ初ハ強^クメ湯気出テヨリ火ヲ柔^クシ一日一夜
 煎シ下ノフラスコニ湯気油滴ルヲ取り別ノ器ニ移シ
 置^クフ^ルフラスコニ十四五ホト煎シ取^ル油ナキ片ハ止猶傳
 扱右ノ器ニ移シ置タル湯気油ヲ取出シ上澄ヲ静ニ
 去^リ底ニ沉タル湯気油ヲ燒物ノ鉢ニ入^レ又側ニ小^サキ
 器ヲ置キ木綿ヲ小指ホトニ捲^キ上^ニツ^ク器ノ間ニ渡セハ
 水ハ跡ニ残り油ハ小器ニ移ル後ニ繪圖ヲ出ス



氣味辛性熱主治補心氣健脾胃止腹痛主
 嘔吐惡心虫ヲ殺ニ他葉ニ合シ可服又風濕ノ症ニ
 他葉ニ合シ外貼ノ可也

解法其於此出處九用實理云々



一ヲ、リヨシナモウニ

油取様同前

肉桂油

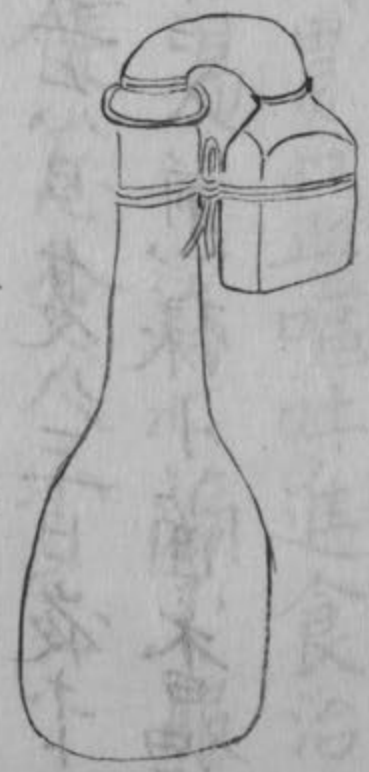
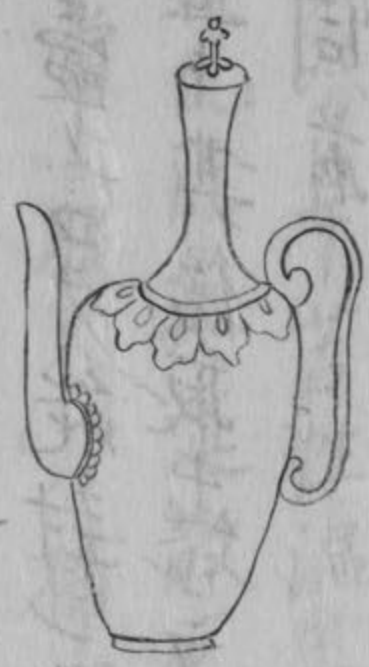
氣味辛其性大熱主治補心氣強命門温胃
 寒、此油四五滴ホト湯ニテ服ス又婦人産後惡
 寒、腹痛惡露不盡ニ雄雞ノ者、汁ニテ此油五
 滴服ス能逐瘀血致新血

解法其於此出處九用實理云々

一ヲ、リヨア子イシ

小茴香之油

小茴香白五斤粗末ノ復ハ一日一夜冬ハ三日三夜
 水ニ浸シ其後フシヒキニ入レ塩ニ合エ又別ノ水ヲ之
 キニ八合ホト入添丁子之油取如クス然レ此油ハ水
 ニ浮故大ナルフラスコニ入又ロノ傍ニ小フラスコヲ結付
 木綿ワタヲ渡シ油ハ小フラスコニ移シ水ハ大フラスコニ
 残ス左大フラスコノ水減ル時ハ別ノ水ヲ入添且油
 油ヲ上ニ浮ヘシ



一 気味其辛性微温主治疝气絞痛スルニ此油五
 一 六滴ホト温湯或温酒ニテ調服ス又寒湿感胃
 脚膝腫痛ニ此油ヲ温メ塗テ良

一 一ヲリノウシスカアト
 油取様同前

肉豆蔻之油

一 気味辛 性温 主治 健脾 胃止 泄瀉 腹痛 及
小旧^レ痢瀉ニ毎服五六滴湯ニテ用又怔忡不
寐エトアル^レ症ニ此香ヲ嗅異セテ可^レ

一 ヲリヨゲシブル 生姜之油

生姜ヲ九斤石臼ニテ杵碎キ壺ニ入水一斗ホト
入壺ノ口ヲ能封シ冬ハ五六日夏ハ三日夜ホト
置キ其後取出シラシヒキニ入煎様小茴香油
ニ同煎

一 気味辛 苦性温 主治 開胃口 止嘔吐 進食治
霍乱除痰涎散風邪ニ湯ニテ六七滴ホト服
之常ニ服スレハ補心治健忘令人不忘
一 ヲリヨウシアツフル 橘皮之油

一 紅橘皮新者二十斤水二十五日ホト浸^レ其後
ラシヒキニ入煎様同煎

一 気味辛 温 主治 調脾胃 利肺氣 解酒毒
除痰止咳嗽 進食消積 順氣止痛 外濕腫
一 擦テ能湿ヲ燥シ腫ヲ消ス

一ツリヨゼイノフル
油取様同煎
ソノ松之実之油

氣味苦辛性冷主治膀胱ノ熱ヲ清シ小便
ヲ通ス又水腫脹滿五淋閉結ヲ主ル毎服四
五滴沸湯ニ點服ス或琥珀油等分ニ合メ可シ

一ツリヨテレメンテイナ

コムテレメンテイナ十五斤塩ニ合一度ニラシヒキニ合

又水ヲラシヒキニ八合目ホト入煎様同煎

氣味苦辛性温主治小便閉結五淋澀痛水
腫脹滿ニ効アリ能膀胱ヲ清シ小便ヲ通ス外金
瘡痛甚ニ此油ヲ温メ木綿ノホツシニ浸シ傳フニ
或ハ中風脚氣ニテ手足拘痛麻木スルニ野菊花ノ
油百合花ノ油合メ湿メ患上ニ擦テ神効アリ

一ツリヨロウズマレイナ
ロウズマレイナ草十五斤細剉水ニ五日五夜ホト浸

其後ラシヒキニ煎様同前

氣味酸辛少苦性温主治疝氣腹痛每服

六七滴温湯ニテ服ス眩暈頭痛ハ兩ノ太陽ノ

穴ニ擦テ可之脚氣風痛偏身土之痛スルニ温塗

付テ尤奇効アリ

一ヲリヨフロシヘイ 鈆之油

鈆ヲ鐵鍋ニ入煮溶シ硫黃ヲ鈆五分一ホト入攪

セ硫黃燒テ煙ニ成ラヒタト攪セ硫黃氣去タル片

鈆ヲ取末ノ礬六鈆二百目十ラハ 醎酸二百五十目ト

同シク器ニ入レロラ能封シ三十日ホト置上澄ヲ取使テ

氣味酸性寒、主治乳癰乳岸結核痰痛シテ

年久シク不消散者ニ擦リ蓋ニハテヤホシホリコスヲ

木綿ニ伸貼メ良或一切惡瘡經年月不愈者

ニ擦テ皆可之

一ヲリヨアラロム 雞卵之油

雞卵不拘多少水ニテ能煮殼ト白ヲ去黃ミテ

一 取リ指ニテ碎キ鍋ニテ少炒リ其後布袋ニ入前
クアムントウノ油取ニ同シ
気味井淡性温主治一切癰瘡疔瘍ノ痛ニ
瘡ノ廻リニ塗付テ能痛ヲ止

一 ヲスリヨセロソヘール 石之油

竈ノ中ノ年久ク焼タル石ヲ取リアセトウナノ
油ニ漬ケ一日一夜置キ又竈ノ中へ入テ焼又取出
シアセトウナノ油ニ漬ケ一日一夜置其石ヲ末ニト

ルトニ入スヒリトサアリスヲ煎スルニ同シ
気味苦性温主治中風脚氣ナトニテ手足拘攣
スルニ温メ塗テ良都テ冷ヨリ発スル痛ニ塗テ可
能筋ヲ和ク

一 ヲスリヨマスデキス 玉乳香之油

一 玉乳香 細末 二十枚

一 ヲスリヨロゼアロシ 百二十枚

一 葡萄酒 十六枚

一 右三味一度ニ鍋ニ入微火ニテ煎シヒタト攪セ酒気
 盡タル時鍋ヲ下シ火毒ヲ去リ使フ
 氣味苦温 主治傷食脾胃虚シ腹痛スルニ
 温メ臍ノ廻リニ擦テ可也

一 バルサムソルフルスア子子ガアト

一 ヲ、リヨア子イシ 六十枚

鷹ノ目硫黄
 フロウルスソルフルス 九四枚

右ニ味丸フラスコニ入ロヲナメシ皮ニテ封シ鍋ニ砂ヲ鋪

其中ニス工微火ニテ煎シ丸フラスコノ硫黄トケ色
 一 変タル片火ヲ止メ布ニテ瀘シ渣ヲ去使フ



氣味其辛性温 主治痰嗽喘急胸痛或虚
 勞脾胃虚損痰多者八九滴ホト温湯ニ点服

一ハルサムソルフルス

一ヲハリヨテレメシテイナ六十表

一フロウルスソルフルス

九四表

右煎様同前

氣味苦辛温主治石淋ニ六七滴ホト湯ニテ服ス

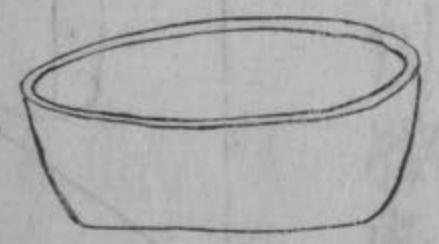
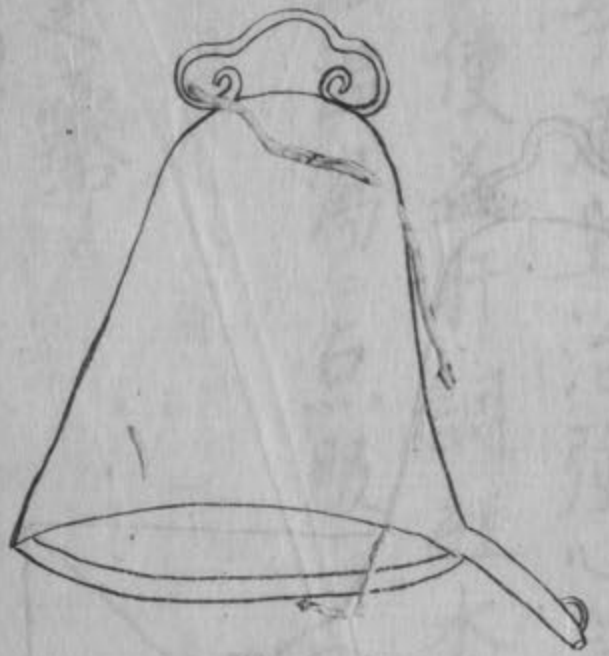
又一切金瘡ニ温メ塗付テ尤可也



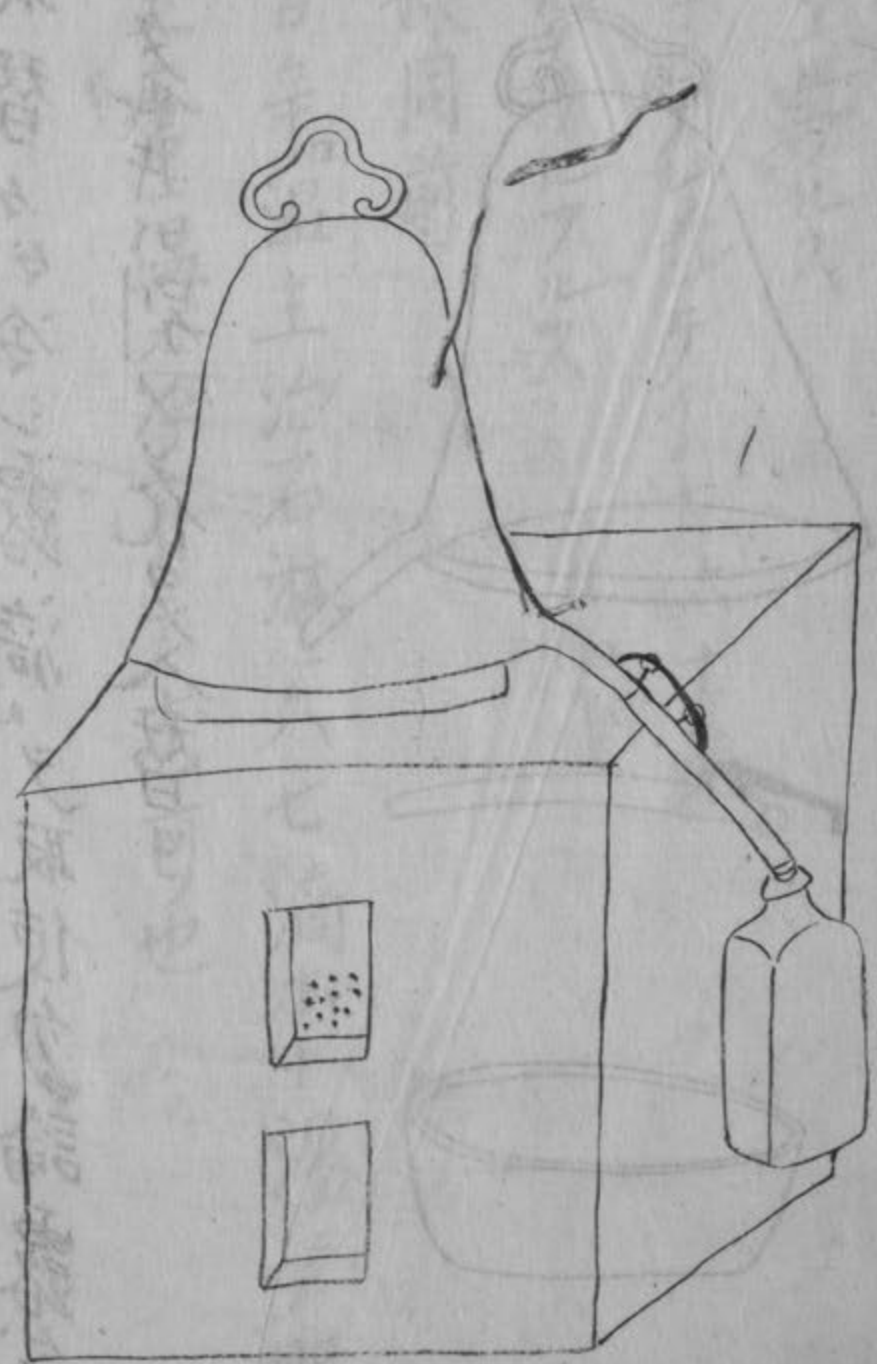
一金銀花之露

金銀花不拘多少臺ヲ去ラシヒキノ鉢ニ川之砂

石ヲ厚子ヲ五分ホト敷キ其上ニ花ヲ入蓋ヲ蔽イ炭
火ヲ武ヲ先ニシ文ヲ後ニス外ヲ木綿ヲ水ニ浸シ之
ヒキヲ取替々々冷シ露滴ルヲ取使勿論露気芥
弱ク成タル片ハ別ノ花ヲ入替目ヨ



一 氣味其酸性微寒、主治一切ノ風濕氣及諸腫毒
癰疽疥癬梅毒瘡ヲ治シ散熱解毒及心腹



一 脹滿或熱毒血刺水刺ニ効アリ

一 兒手柏葉之露

兒手柏葉ヲウシヒキニ入レ煎様同前

一 氣味辛潘主治強心氣調脾胃補元氣除
濕通小便益肝調經水健筋骨利腰脚每服
十二三滴温湯ニ占服

一 松葉之露

三月比松ノ若葉ヲ取フシヒキニ煎様同前
気味辛淡苦主治辟邪惡氣豫服ス健筋
骨延年及主水腫脹滿每服十二三滴温湯
朝夕ニ服ス

一車前水

車前草ヲ取土氣ヲ洗銅ウシヒキニ水ヲ入煎様
苗香油取ニ同シ

気味并平主治口舌咽喉腫痛ロウサ蜜少

加五合之効アリ又風眼暴赤腫痛ヲ洗フ或ハ塩
ニ此水ヲヒタシニ入鍋ニ煎シ乾シ如此スルヲ三度
其塩ヲ取り末ノ毎朝牙ニ塗水ニテ漱キ其水ニテ
眼ヲ洗終身牙齒眼目ノ病ナシ

一茨花之露

茨ノ花不拘多少臺ヲ去リ煎様金銀花露
同前

気味苦性微寒主治眼目ノ痛ヲ洗フ或ハ打

撲ニ此水ヲ木綿ニ浸シ卷クキハ能ク痛ヲ止腫ヲ消ス或ハ夏月ニ疥癬ニ塗リテ良

一駒引草ノ花蜜漬製法

駒引草ノ花臺ヲ去德利ニ入水見合入口ヲ能封シ湯煎ニメ一日一夜煎布ニテ濾シ其水ヲ又德利ニ入又駒引草ノ花ヲ見合入如右湯煎ニメ其汁絞リ取譬言ハ水ニ斤アテハ白蜜ニ斤半入レ微火ニテ煎シ水気去タル片器ニ移シ置使フ

気味其少酸性平主治一切口中痛ニ含之良又車前水ニ合メ更ニ使フ

一茨之花ノ蜜漬

茨ノ花臺ヲ去搦様同前

気味其性微寒主治一切口中痛ニ含之又車前水ニ合メ用テ佳ナリ又一切洗ハ藥ニ加テ使能肌ヲ生ス及癰疽膿潰愈肉七八分程上リタル片塗テ食諸菜毒ヲ解シ愈ス

一制衣法桑椹

桑椹ヲ取杵碎キ布袋ニ入汁ヲ絞リ取譬
ハ其汁二升ナラハ白蜜二升半入微火ニ煎
水氣去タル片鍋ヲ下シ壺ニ入貯
一氣味其性平主治中風竹肋變手拘痛スルニ每
服一匙半温湯ニ点服ス或ハ口中痛ニ塗テ有
神驗

一ヲリヨセイラ

蠟之油

一蠟

五百目

一砂

一貫五百目

以上二品レトルトニ入琥珀之油取ニ同シ

一氣味淡性平主治一切瘰癧疽瘰癧瘰癧脚氣痛
二温メ擦テ可也婦人吹乳或一切金瘡經絡
二中リ疼痛スルニ温メ木綿ノホツシニ浸貼
痛ヲ止能愈

一サルホニアアテヲリ子ウスム

一サルアルモニヤク 一斤

一フランシトウイシ 六斤

一肉桂 粗末 羊斤

一丁子 四十匁

一陳皮 去白 羊斤

右五味合メ三日浸置其後燒物之レトルトニ入
スヒリトサアリス取ニ同シ

煎之由

